

若者定住奨学金の創設を

村林 聡 議員
(自民みらい/度会郡選出)



問

人口が流出しやすい伊ミミングの一つが進学で、三重県は他県に比べて大学が少なく、県外の大学へ進学せざるを得ない実情があります。そこで、若者定住につながる奨学金の創設を提案します。大学卒業後に生まれ育った地域に戻ったり、地域で一次産業に従事したりすれば、奨学金の返還を免除するというものですが、知事のご所見を伺います。

県では、より多くの若者のUターンを促進するため、働く場を増やす取り組みや次代の地域を担う人材育成を進めています。ご提案の制度は、県内の尾鷲市をはじめ全国でもいくつか先行事例があり、その成果や課題を情報収集しながら、関係市町と研究していきます。

○農林水産業の下支えを ほか



人材育成の取り組み

熊野古道世界遺産登録10周年を迎えて

笹井 健司 議員
(新政みえ/松阪市選出)



問

熊野古道は美しい石畳や自然景観など、歩く旅人に多くの感動を与えてくれます。多雨地域で古道を守ってこられたのは、地元の方々のご努力のおかげですが、保全活動ボランティア会員の高齢化や会員数の減少が進み、活動資金も不足するなど、さまざまな課題があります。



熊野古道の美しい石畳

熊野古道の保全について、県としてどのように取り組んでいくのか、お聞かせください。

答

新たに熊野古道サポーターズクラブを立ち上げ、保全活動に参加いただける人材の掘り起こしにつなげるとともに、保全活動経費については、現在、支援金の増額を検討しています。

10周年を契機に、各種事業を市町などで行うことで、熊野古道の価値を伝え、保全につながるよう取り組んでいきます。

○農業政策 ほか

海女漁業の継承・振興に向けて

山本 教和 議員
(自民みらい/志摩市選出)



問

三重を象徴する漁業として海女漁業が挙げられますが、年々、海女の数は減り続けており、その漁獲高も急激に減っています。

海女漁業については、高齢化や後継者不足、アワビなどの餌となる海藻の減少など、課題が多く、改善には至っていません。水産振興の立場から、県として海女漁業の振興に対してどのように取り組んでいるのか、お聞かせください。

答

県では、アワビ稚貝の放流効果を向上させるマニユアルの普及や、藻場の造成、海女になりたい人を対象にした研修への支援などを行っています。

今後さらに、放流するアワビ稚貝の大型化や、海女の漁獲物の高付加価値化などを行い、伝統ある海女漁業を未来へ伝えていけるよう努めていきます。



豊漁祈願行事に参加する海女たち

○遷宮後の地域振興 ほか

オープンデータやビッグデータによる産業活性化の可能性

水谷 正美 議員
(新政みえ/四日市市選出)



問

他県では、公共工事の①地質データなどを②オープンデータ化し、企業の建設計画が加速した事例や、カーナビによる急ブレーキ発生地点の膨大な記録を官民で解析し、安全対策に活用した事例などがあります。個人情報保護や膨大なデータを解析するデータサイエンス、本県でもオープンデータ化や③ビッグデータの活用を進めるべきではないですか。



答

産学官連携による協議会を設立し、観光客の行動履歴情報などの分析による周遊ルートなど観光客向けサービスや、健康診断データを活用した出産・子育てなどのライフステージに即したサービス提供などのビジネスモデルを検討しており、今後、プロジェクト化することで、新たなビジネス創出を図ります。

○TPP交渉と遺伝子組み換え食品 ほか

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しております。